

國學院大學博物館

企画展

江戸の本屋さん

板元と庶民文学の隆盛

Kokugakuin University Museum
Special Exhibition
Publishing Culture in Edo

2025 令和7年 2.22^土
— 4.20^日

会場

國學院大學博物館
企画展示室

開館時間

10:00 - 18:00
(最終入館17:30)

休館日

毎週月曜日(祝日は開館)

入館無料
FREE
Admission

Kokugakuin University Museum

Special Exhibition

Feb. 22 - Apr. 20, 2025

10:00 - 18:00 Last admission 17:30

Closed day: Every Monday (except for Public holidays)

曲亭馬琴

鱗形屋孫兵衛

柳亭種彦

葛屋重三郎

「東海道中栗毛弥次馬」

國學院大學博物館
オンラインミュージアム
Online Museum
やっています!



YouTubeで展示解説をご覧ください。

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

メディアとしての江戸の出版文化

江戸時代前期(二六〇〇年代)に京・大坂で盛んになった印刷技術による出版文化は、中期(二七〇〇年代)になって、江戸の地において、上方文学とは異なる特徴を備えた独自の「江戸戯作」として花開きます。

また出版文化の広がりに伴う庶民読者の増加が顕著に見られるようになったのも江戸中期以降です。彼らの嗜好と期待に応える戯作類が、急激な勢いで出版されていくこととなります。こうした戯作群の製作、出版、販売を担っていたのが、本屋です。板元とも呼ばれた本屋は、江戸府内に次第が増えていき、戯作者らの執筆活動を後押し、プロデュースしていくこととなります。言わば本屋は江戸の出版文化の屋台骨であったわけですね。

本展示では、その江戸の本屋の活動を概観するとともに、本学図書館所蔵の甘露堂文庫(伊藤孝一旧蔵)と小柴文庫(小柴値二旧蔵)という江戸戯作コレクションを中心に、江戸時代後期の、華やかで遊び心に溢れた版本・錦絵の数々をご覧ください。



▲錦絵「東海道中栗毛弥次馬」
全60枚組/万延元年(1860年)刊
品川屋久助刊/鈍亭魯文・歌川芳幾画
※展示は一部
(國學院大學図書館蔵)



▲「南総里見八犬伝」
全9輯98巻106冊/文化11(1814)年～天保13(1842)年
山崎平八ほか刊/曲亭馬琴作・柳川重信ほか画
※展示は一部
(國學院大學図書館蔵)



▲幕末明治豆本コレクション
(國學院大學図書館蔵)

オンライン展示解説

中村正明 國學院大學教授
3月15日(土) 12:00公開

國學院大學博物館
オンラインミュージアム
Online Museum
やっています!



YouTubeで展示解説をご覧ください。

草稿



版下



版本

▲「田舎織糸線狭衣」
嘉永3(1850)年～5(1852)年/山口屋藤兵衛刊
緑亭川柳作・歌川豊国画
(國學院大學図書館蔵)

配送販売

本展パンフレットのご購入は、ミュージアムショップ店頭もしくは、配送販売にて承ります。配送販売は、右記フォームからお申込みください。FAX、郵送でのお申込みは、以下URLをご覧ください。
http://museum.kokugakuin.ac.jp/mail_order/



配送販売フォーム

國學院大學博物館 Kokugakuin University Museum

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 [國學院大學渋谷キャンパス内]
TEL: 03-5466-0359 WEB: <http://museum.kokugakuin.ac.jp/>

開館時間 10:00～18:00 (最終入館17:30)
[ミュージアムショップ 10:30～17:30]

会期中休館日 毎週月曜日(祝日は開館)

アクセス

- 渋谷駅から 徒歩約13分 都営バス(渋谷駅東口バスターミナル54番のりば学03日赤医療センター前行)「国学院大学前」下車
- 表参道駅から 表参道駅(地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線)B1出口から徒歩約15分
- 恵比寿駅から 恵比寿駅(JR山手線・地下鉄日比谷線)から徒歩約15分 都営バス(恵比寿駅西口ロータリー1番のりば学06日赤医療センター前行)「東四丁目」下車

